

岡山実験動物研究会創立30周年を迎えて
Okayama Association for Laboratory Animal Science
Celebrates the 30th Anniversary of the Foundation

倉林 譲

Yuzuru KURABAYASHI, Ph.D, DVM

岡山大学医学部客員研究員・岡山実験動物研究会名誉会員
Visiting researcher of Okayama University Medical School,
Honorary member in Okayama Association for Laboratory Animal Science

獣医師である私が、東京の獣医科大学卒業後、大学院修士・博士課程を修了し、博士課程の研究テーマが吸入麻酔剤である「犬の Halothane 麻酔に関する研究」という吸入麻酔に関する研究であり、岡山大学医学部麻酔学教室の「全血でガスクロマトグラフィで定量できる試料加熱気化装置」を開発していたので、ドクターコースの最終実験で利用させていただいたことが岡山大学に来る契機（昭和48年7月赴任）となった。

当時、文部省から全国の医科大学に動物実験が前臨床実験として重要な分野であることが認知され岡山大学にも動物実験施設の予算がつき、昭和55年11月に岡山大学医学部附属動物実験施設が完成され、その助教授に就任した。

岡山大学医学部では幸い古くから米国ベイヤール大学他からアカタラセミアマウス等を導入し繁殖・育成・供給し、ユーザーには重宝されていた経緯もあり、マウスコロニーをそのまま動物実験施設へ導入したが、施設は完成されたものの設備がほとんど補充されていない状況であり、動物が全て収容できる状況ではなかった。それから設備費の予算化を経年的にお願いし、何とか飼育できるようになるまでにはかなりの年限を要した。

全国的に動物実験研究に関する研究会組織が充実され、東海、静岡、信州に続いて岡山へも岡山大学

医学部附属動物実験施設が設立したことを契機として、猪 貴義先生、永井 廣先生、田坂賢二先生らと我々が発起人となり、岡山実験動物研究会を1982年に発足した。現在では全国に11の動物実験に関する研究会が組織されている。

初代会長には、猪 貴義氏（岡山大学名誉教授・本会名誉会員）、2代目会長は田坂賢二氏（岡山大学名誉教授・本会名誉会員）、3代目会長は、栗本雅司氏（前（株）林原生物化学研究所藤崎研究所長・本会名誉会員）、4代目会長は、佐藤勝紀氏（元岡山大学農学部教授・本会名誉会員）、5代目会長には私倉林譲（現岡山大学医学部客員研究員、前岡山大学医学部附属動物実験施設、前森ノ宮医療大学保健医療学部教授、本会名誉会員）、6代目会長には三谷恵一氏（岡山大学・環太平洋大学名誉教授・本会名誉会員）、7代目会長には織田銃一氏（岡山理科大学教授）が就任し、これからの研究会の運営にあたることになった。

岡山実験動物研究会は、初期には年3回のペースで開催されていたが、その後は年2回のペースで開催されており、現在で64回の研究会で創立30周年を迎えた。一言で30周年というが、事務局をお願いしている岡山大学大学院環境生命科学研究科の国枝哲夫教授と佐藤勝紀元教授に深謝する。

(2013. 1. 14.)